

令和5年度  
第2回西脇市総合教育会議  
議事録

令和5年11月24日

西脇市教育委員会

## 西脇市総合教育会議議事録

### 1 開催日時

令和5年11月24日（金）午前11時5分～

### 2 開催場所

西脇市役所 大会議室

### 3 出席者

#### (1) 市長及び教育委員会

市長	片山象三	教育長	遠藤一博
教育委員	岸本みのり	教育委員	柴垣美紀
教育委員	藤尾寛	教育委員	和多眞乗

#### (2) 事務局

市長	公室長	早崎育子
政策推進課	政策推進担当	澤田康生
教育管理部	部長	高橋芳文
教育創造部	部長	足立英則
教育委員会	参事	竹内誠
学習環境規模適正化推進担当	次長	鈴木成幸
学校給食センター	所長	村上昌隆
人権教育課	部長	伊藤玲子
生涯学習課	部長	長谷川広幸
中央公民館	部長	古家達徳
生活文化総合センター	館長	佐藤彰
図書館	館長	楠本昌信
学校教育課	部長	衣川正昭
学校教育課主幹兼教育研究室	長	宮下晋一
学校教育課青少年センター	所長	小林賢也
幼保連携課	部長	伊藤宏明
幼児教育センター	長	橋本恭代

### 4 傍聴者

3人

## 5 会議の概要

- ・ 市長あいさつ
- ・ 協議・調整事項
  - (1) 西脇市教育大綱について
  - (2) 西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画の現状等について
- ・ その他

## ○事務局

大変お忙しい中お集りいただきまして、ありがとうございます。定刻を少し過ぎましたが、ただいまから令和5年度第2回西脇市総合教育会議を開会いたします。本日司会を務めさせていただきます教育管理部長の高橋でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして片山市長から御挨拶をいただきます。市長よろしくお願いいたします。

## ◎市長

総合教育会議の開会にあたりまして、一言御挨拶を申し上げます。平素より、教育委員の皆様方には、本市の教育行政の推進に格別の御支援と御尽力を賜り心からお礼申し上げます。さて、先日、全国市長会があり社会文教委員会に属させてもらっています。この委員会は厚生労働省や文部科学省、こども家庭庁を所管する会なんですけど、今回は文部科学省の初等中等教育局の矢野局長から初等中等教育施策についてのお話を伺うことができました。矢野さんは前文化庁の次長として西脇小学校の指定のときにはお世話になった方で、初等中等教育のトップと親しくお話ができることは大変ありがたいと思っています。内容としては、GIGAスクール構想に始まって不登校、いじめ、学校整備、教職員のための環境整備、部活動の地域移行などが網羅されているんですが、教育委員会、市長部局にも資料として共有しています。わかりやすくまとめてありますので、教育委員の皆様にも見ていただければなと思います。昨日、公明党の伊藤孝江参議院議員が西脇市に来られて教育についての面談ができました。この前まで文部科学省の政務官されており、文部科学省に行った際に、部活動の地域移行のことなどについて意見交換をさせていただいたり、あちらからも情報提供をいただいています。11月28・29日には教育長にも文部科学省に行っていて、GIGAスクールの課長やできれば矢野局長と西脇市の抱えている課題などをお話ししていただけたらと思っています。本日協議いただく内容の西脇市教育大綱、西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画は、本市にとって大変重要な議題であります。本日は、限られた時間ですが、皆様の忌憚のない御意見をふまえ、活発な議論が必要だと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

## ○事務局

ありがとうございました。この後、議事に移らせていただきますが、会議の議長につきましては、西脇市総合教育会議運営要綱に基づきまして、片山市長にお願いしたいと思っております。市長、よろしくお願いいたします。

ます。

◎市長

それでは、まず、本日の傍聴希望者数を事務局から報告願います。

○事務局

本日の傍聴希望者は、3名おられます。

◎市長

ただいま、事務局から報告がありましたとおり、本日の傍聴希望者数は、3名となっております。傍聴要綱で定める定員が原則5名となっておりますので、このまま会議の方を進めていきたいと思えます。

◎市長

それでは、まず、議事録署名委員につきまして、私から指名をさせていただきます。岸本委員、藤尾委員、両氏にお願いします。議事録の署名をもって「運営要綱」第5項第2号の会議録の承認とみなしますのでよろしくお願いいたします。

◎市長

引き続きお手元の次第に従いまして進めさせていただきます。次第の2の協議調整事項(1)西脇市教育大綱についてですが、教育大綱は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項に基づき策定しようとするものであり、また、策定にあたっては、同条第2項に基づき、本総合教育会議で協議を行うものです。それでは、説明については、私の方からさせていただきます。なお、この資料については、10月19日の定例教育委員会、10月25日の教育振興基本計画策定会議でも、資料提供や概要説明などがなされていると聞いておりますが、改めてご説明をさせていただきます。

————— [ 説 明…記述省略 ] —————

◎市長

この西脇市教育大綱につきまして、御質問・御意見はございませんか。順にお願いします。

○委員

教育大綱は、ベースになる考え方ということになると思えますので、これでよいと考えております。1ページに教育行政、地域住民に地域住民の意向を一層反映させるとあり、3ページの地域や家庭で共に学び、支え合う社会づくりの地域のところをしっかりと進めて行ければと思えます。

○委員

教育大綱のことですが、全体的に少し長いように感じていまして、も

っと大まかな部分だけを取り挙げて示していただく方が大綱としてはふさわしいのではないかと感じました。現在、グローバル化などいろんな課題についてはあまり挙げないようにして、いつの時代でも変わらないような先を見据えた文章に示していただく方がいいのではないかと思います。そういう意味では、第3章以下は教育基本計画の内容になるのではないかと思います。

#### ○委員

私も同じでちょっと内容が多いのではと思います。あと、縛りがきついという感じもありますので、もう少し柔軟性をもって、将来、時代の流れとともにいろんなことが変わっていくので、その時その時によって教育現場の意見を多く取り入れながら推進していただけたらと思います。

#### ○委員

私も皆さんと同じで、いろんな内容が入りすぎている。でも、わかりやすい部分も沢山あると感じました。私もその時々によって、教育についても早く進んでいく。いろんなことをその時々で対応していただきたいと思います。

#### ○教育長

この教育大綱は、国の教育振興基本計画という、7、80ページある冊子を踏まえたダイジェスト版のような形でまとめられています。できるだけポイントを簡略化して表示されていまして、3ページの3つの領域、学び、行政、地域の部分と4ページの第3章の推進に向けての項目には入っているものを合わせると、国の示している16ほどの項目が、バランスよく入っています。確かに量として文字数が多いという印象はありますが、1つ1つにつきましては大事なキーワードもありますので、このような状態になっていると思います。ただ、実態に応じて変えていくとか、現場のニーズに応じて本市独自のものにしていくとか、西脇市の教育大綱をより機能的なものにしていくことは自然であると思いますので、これからの年数の中で検証しながら、すぐに反映できる形に工夫していく必要はあると思います。

#### ◎市長

これには期間をつけていますが、何か大きなことがあった場合は変更できると法的にも押さえています。国は5年に一度定めているものであり、国の制度としてはこの方向で行くという前提がありまして、法律的にこの範囲からは出ないということもあり、今回出している部分は簡潔にまとめたものです。今、委員からお話があったように、ひっくり返るようなことがないとも限りませんので、そんなときには時代に合わせて

途中で内容を変えていくようなことは可能です。今は、国の制度に則った形のもので、どの項目を抜くかも大変ですので、これでスタートさせていただくということで協議・調整ということによろしいでしょうかね。教育委員会が西脇市教育振興基本計画をつくる際には、大綱がベースになります。策定作業は、すでに進んでいますが、第4期西脇市教育振興基本計画については、国の施策に基づいてつくった西脇市教育大綱をベースに策定にあたっていただきたいというのが、市長部局からのお願いになります。本日の教育総合会議での協議をもって本市の教育大綱を定めて、公表してまいりたいと思います。

◎市長

次第の2の協議調整事項(2)西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画の現状等について、担当課から説明をお願いします。

————— [ 説 明…記述省略 ] —————

◎市長

報告が終わりました。先ほど開催された定例教育委員会でも報告案件として挙がっており、重複する内容もあろうかと思いますが総合教育会議の場での意見交換も大切だと思いますので、よろしく願いいたします。それでは教育長の方から、先ほどの定例教育委員会での意見交換の状況について説明をお願いします。

○教育長

それでは先ほど終わりました定例教育委員会の中で、この件につきまして教育委員の皆様から頂きました意見を簡略化するかもしれませんが、整理をしてご報告させていただきます。まずこの計画案全体として、ビジョンを丁寧に説明していく必要があるというご意見、若い方のニーズとしては施設もあるけれど、ソフト面の話を聞きたがっておられるという意見をいただいたと思います。そして、小中学校の再編について謳ってある部分についてどう受け止められているかをお聞きしたところ、小学校の再編につきましては、いろんな地域全体としてみると受け止めがある程度理解を得ているのではないかという意見が出ておりました。今のこの推進計画(案)を受け止めておられる状況を感じておられる、そういうことであったと思います。ただ、中学校に関しては、比延地区、黒田庄地区の統合に関してはいろいろとご意見があるところであり、それについては丁寧な説明の場、協議の場を継続してやっていくことをご提案いただきました。そういう機会を設ける中で、若い方の意見をしっかり聞くような場として捉えてほしいというご意見もありました。それから通学方法につきましても、提案されている協議の中で地域の声とい

うものを大事にしていきたい。JRもあれば、バスも含めての協議をとという意見も聞くという意見もありました。発達段階における配慮も必要ではないかということだと思います。全体的に学校指導訪問で今の市内小中学校の現状を見られた中での意見であります。小学校、中学校が非常にしっかりと取り組まれている部分を多く見たことの上に、さらに小中の連携を強化するような枠組みが非常に大事になってくるという意見でした。いろんな場で、学校現場での連携を、交流を、また理解促進に取り組んでいけばよいのではないかとのご意見でした。今、4人の教育委員さんがいらっしゃいますが、大体このような小学校、中学校の取扱いでよかったですでしょうか。不足がありましたら、市長から聞いていただければと思います。

#### ◎市長

教育長、ありがとうございます。今教育長からお話がありましたが、特に補足とかは。大体をまとめるとそういうお話ということでしょうか。少し私の方からですが、説明会に出席いただきありがとうございます。その中で「教育委員から意見を言わせろ」とか「地区に来て説明しろ」というお声をいただいておりますが、議会で総務部長から法的にそういうことが対象とされるものではないということをしつかり説明させていただいておりますので、その部分についてはフラットなところで安心して議論していただけるように、教育委員会の方でも配慮していただければと思います。鉄道のことについては、市長としてまちづくりイコール公共交通というものも非常に大切なところで、なかなかうまく伝わらないというもどかしさがありますので、自分なりに資料をつくってききましたのでスクリーンを見てください。お隣の丹波篠山市のホームページから作っていったんですけど、赤色が中学校、黒色が小学校なんです。城北小学校の菅地区の1・2年生は路線バスに乗るけれど、3年生以上は歩いてください。古市小学校の南矢代地区の3年生以上は電車に乗ってください、1・2年生は市営バスに乗ってくださいね。丹波篠山市は市営バスと書いてありますが、スクールバスのことです。古市小学校の犬飼地区は、3年生以上はJRではなくて路線バスに乗ってくださいね、西脇市で言うと神姫バスです。1・2年生はスクールバスに乗ってくださいね。今田小学校はスクールバスですよ、西紀中学校は路線バスですよとたくさんの地域別、学校別に出ている表を抜粋してまとめたものです。このイメージを頭に入れていただいて、次の資料、これは議会でも説明の資料を出してもらったんですけど、古市小学校でJR通学しているところの写真です。表で言うと3年生以上が乗っている

はずです。次、ご存じのように西脇市内には7つの駅があります。これは、加東市のスクールバスですけれども、いわゆる市営バスはこういう形で運営されています。おさらいですが、JRで通っているところもあれば、路線バス、スクールバスで通っているところもあります。ここでのポイントは、それぞれ希望を取ってなくて、ここはこうです、これに乗って来てくださいねってなっているところです。次、これは養老鉄道ってところで、8月に行ったときに高校生のクラブ活動で10年前から自転車に乗っていますという写真。次の女の子は隣町の図書館を利用するために乗っていたということで、西脇市でイメージすると比延地区や黒田庄地区の学生・生徒がミライエを利用するイメージを膨らませてみました。これはゴールデンウィークに和歌山のきのくに線に行ったときに中学生が乗っていて「どうして乗ってるの？」と聞くと、「休みの日、練習試合に市営グラウンドに行くんです。」と。お昼の時間はただで自転車に乗せることができるので。クラブ活動の地域移行も皆さんご存じの通り、学校からクラブ活動が外に、市民の皆さんと一緒にやっけていこうとなってきました。これは夏休みの平日です。西脇東中学校に行ったときに黒田庄中学校の子たちが西脇東中学校に来て、女子バレー部が合同で練習、今は合同チームになっているんですかね。床面がこっちの方が新しく、バレーボールにはいいらしいんですけど。問題は平日ってというのがポイントで、土日だったら保護者の送迎ができるんだけどという中で、サイクルトレインというのも有効なのかなあと考えています。ただ、サイクルトレインというのは、あとから説明しますが、自転車を電車に乗っけるだけがサイクルトレインじゃないってところを頭に入れていただければと思います。同じようなものなんですけど、社会体育施設、多様な組織団体が運営する場合、クラブ活動でこういうのが出てくると思うんですが、その中で民間スポーツ、文化施設によっても違ってきますが。例えば、西脇南中学校の子も、自転車を乗っけてクラブ活動に行くっていうのをイメージできますか？比延地区に民間のゴルフ練習場があります。中はこんな風になってます。日本へそ公園駅からそんなに離れてないところなんですけど。そこの社長さんから8月に提案書をいただきました。学校の部活動の地域移行に伴って提案したいってことで、一言で言うと中学校のゴルフ部をうちでやってもいいよということです。メリットは6つあるんですが、ポイントは地域ボランティアの方の協力が期待できることです。世界で活躍できるような蟬川さんのような方が加東市から出ていらっしやるんで、こういうものができたら夢も広がるのかなっていう一民間企業の方からの提案です。玉木新雌さ

んのところで刺繍とか綿を紡いだりする勉強などを受け入れてもいいよって、これは口頭ですがおっしゃっていただいています。今見ていただいたもの、多様な組織団体を運営する場合、広域にわたって生徒の移動を必要としますので、こういうときに公共交通機関は大事です。例えば比延地区の民間のゴルフ練習場に西脇南中学校の生徒が行きたいと言った場合に、JRなんかが便利になりますよねっていうところです。西脇市は平成30年に、立地適正化計画をつくって、要は人口減少によりコンパクトシティ、コンパクト・プラス・ネットワークっていうことでまちづくり計画を進めています、その中でトレイン&(サイクル)×2ネットワークという、世の中になかった提案を国土交通省なんかに行っているんですけど。自転車を家に置いて、外からスマホでレンタル自転車を予約していくようなことはできませんかねっていう、これはもう一部JR東日本が予約システム、こういう形ではないんですけどやっているので難しいことではないと思います。放置自転車なんかをうまく利用して、駅から駅までの間、駅から自宅までの間をこういうもので行きも帰りも自転車を使うという案を国土交通省の方に話をしています。これは中学校の通学のアイデアイメージで、教育委員会の方には全く話をしてないんですけど、今後、中学校の通学には自転車か徒歩で駅まで行って、電車に乗って、また自転車(レンタル)か徒歩で通学する。もしくはコミバスまたは貸し切りバス(スクールバス)を使う。どれかを選択できるようにしたらいいんじゃないかなということを入れています。また、クラブ活動の地域移行後の移動、特に夏休みの平日なんかで保護者の送迎が困難な場合がありますので、それには中学校の通学、プラスJRの方で今テストしてもらっているサイクルトレイン、直接電車に乗せるもの、昼間だったらお客さんが少ないのでという提案とともに、路線バスとかスクールバス、要は選択できるっていうことなら、通学だけじゃなくて、社会人だったり、普通の市民の人たちでも使えるサイクルトレイン・プラス・ネットワークみたいなものをという、このプランがなかなかうまく伝わらないので難しいんですけど、国の方にも働きかけているのが現状です。

◎市長

この部分について何か質問とかはございますか。

○委員

私は、通学とJRの存続は一緒にしてはいけないと思っています。今、篠山の例が出ていましたが、篠山は大阪まで繋がっているので電車の便数も多いと思いますが、ここはどこに繋がっているかとなると、便

数も時間も融通できないですし、乗るタイミングを逃すと何時間後に来るのというような柔軟性のないものに子どもを乗せるというのは、逆に危ないのではないかと考えています。それでしたら、バスの方が時間も融通ができるし、集まったかどうかを確認して乗るとかになると思うが、電車は市の持ち物ではないのでどうしても融通が利かない、柔軟性に欠けることを考えたら、今後、統合の問題が出たときにも通学となったら、路線バスかスクールバスっていう形がいいのではないかと思います。

◎市長

ありがとうございます。ただ、現実を言いますと、子どもたちが乗らなかつたら、廃線は必至です。ですので、私は、これも表裏一体のものだと思っています。その中で、ポイントは「選択」、選択できること。今日はこれだけど、明日はこれみたいに。駅の前に住んでいる子なんかJRに乗って通えたら、中学生ですよ、小学生というイメージじゃないですよ、だから、あえて「中学生の」って申し上げたんですけれど。

○委員

うちも駅の前だったんですけど、子どもは一度も電車には乗らないで学校に行きました。今、大学生の子どもも西脇市駅から神戸に通っていました。本当に、いい時間に電車が来ないっていうので、選択肢にはならなかつたので、そういう意見になります。

◎市長

そういう意見を吸い上げて、JRさんの方にこういう風にしてくれと。存続できない、お客さんが少ないからやめるんだではなく、こうしたらこれだけ伸びるということを担保する必要があると思います。これは確かに難しい話ではあるんですけど、将来のまちづくりや車に乗れない人とかのためにも、教育委員会の話じゃないんですけど、鉄道っていうのは絶対残したい、残すべきだと私は政治家として思いますし、それに自転車をネットワークさせる、携帯電話で予約ができる、放置自転車を利用する、ひょっとしたら電動機付自転車なんかでもっと便利になる、こういう社会を目指していきたいなという思いをもっています。子どもたちが犠牲になるんじゃない、子どもたちにとっても利便性の上がるものをつくって、今までにないような仕組みを国土交通省の方には言い続けているんですけど。何度も言いますが、選択ができる、その選択の今日はこれで行くけど時間がなかつたらバス。予約制で明日はバスなどいろんな方法が考えられると思いますので、これは何とかやっていきたい。ここは教育委員会とは関係のない話ですが。

○委員

関係ないとなる話なら、通学や部活動にということを入れずに、違う形の方向性の方がいいと思います。実際に選択肢が多くなるからといって乗るか乗らないかとなると、西脇市駅から南に行く人は確かに乗られていると思いますが、その間のところはちょっと難しいと思うので、違う形、ラッピング電車やお座敷列車のような観光目的のもので考えられて、子どもとつなげるのはどうなのかなと思います。

#### ◎市長

そういう意見もどんどんいただきました。ただ、現実問題、観光でプラスアルファになるものは、本当にわずかです。365日のうち5日やってもその部分はほとんどプラスにならないのと、鉄道を残すにあたっては通学というのがポイントになります。国もJRも通学を前面に出すと「仕方がないなあ」となりますが、今のままの状態であれば、たぶん無理だと思っています。1,000人の規模に対して200人も乗っていない。兵庫県で一番悪い、近畿で一番悪い状況ですので、そのあたりも皆さんによく理解いただいた上で、それでも子どもには関係ない、もういいよってということが皆さんの中で言われるのであれば、汗をかいて説明する必要もありません。そんな状況まで追い詰められている中で、将来を考えてやっていかないといけない。通学についてはそういうことで話を戻して、3つの視点として若い人の意見とビジョンというのがありました。ビジョンも非常に難しいんですが、教育長、ビジョンについて考えをお願いします。

#### ○教育長

今、通学手段、方法についての提案もあって、これも1つのビジョンを示していただいたと確認したところであります。ソフト面も含めビジョンを明確に出しながら判断を一緒にしていく丁寧な場を設けて、若い人の受け止めなどを重視してはどうかとのことだったと思います。もう一つ、先ほどの定例教育委員会では時間的なことは出なかったのですが、交通手段一つ取りましてもいろんな協議が必要になりますし、先ほどの小学校、中学校の扱いにつきましても、受け止めとしては特に中学校については時間をかけてということもあります。今、計画案では初期の段階の再編が起こる年度なども提案しているところありますが、今のような状況の中でこれから協議をさらに丁寧にとかも当然必要なことであり、地域合意も話をしっかり聞いて進めていくとなると、今示しているスケジュールではなかなか厳しい。そういう意味におきまして、意見交換の場でもありますので、委員の方のご意見もお伺いできればと思うのです。例えば、この協議の状況を踏まえて、令和8年を第1統合の時期として

提案しているところですが、令和9年を目指してとか、少し緩和するようなことを考え、いろんなビジョンを示しながら共通理解を図ることは大事なことだと思いますし、部活動も大事な項目なので、近い将来、早い段階で市として判断していかなければならないところです。そういうこともありますので、私からの再確認ですが、スケジュールを少し緩和していただくことについても、委員さんの意見を聞いていただければありがたいと思います。

◎市長

それでは、スケジュール感について順にお願いします。

○委員

令和8年を目指してやっていくには時間がないと思います。子育て世代が聞きたい部分の説明ができていないと思うので、そういうことをして進んでいくことを考えると、令和9年、あまり先延ばしにはできないと思いますが、緩和すべきだと考えます。

○委員

小学校に関しては、今の計画で進めていいと思うんですが、西脇東中学校、黒田庄中学校の統合に関しては、もっと沢山の若い保護者の方のご意見を聞きながら、パブリックコメントにも書いてあるんですが、自然と非認知能力が身につけば、大規模な環境にも適応できる子どもが育成できるという意見があったり、地域に密着したオリジナルの教育路線が展開できれば西脇の強みになると書かれていたり、そういう小中一貫教育に向けての明確なビジョンを話されると若い保護者の方にもご理解いただけるのではないかと思います。部活動の地域移行もいいなと思っているんですが、1つ気になるのは、私たちが中学生のときは部活動は学校の先生が見てくださって、みんなで頑張ってやっていて、部活動以外の悩みも先生に話ができる近しい仲でいろんな話ができただんですが、中学校の先生の働き方改革もあります、部活動に携わりたいという先生がおられたら、うまく参加していただけるような形をつくりつつ、地域移行は新たなものを入れるのではなく、今の部活動の中で地域移行し、新たに何かしたい子どもは、自分で新たなものをやることができたなら、それをフォローアップしていくのがよいのではと思いますし、現場の教員の皆さんがどう考えられているかというのも気になります。

◎市長

これを言うといつも嫌われるんですが、西脇市内の中学校で土日も部活動したいですかという質問に対して「はい」は8%。8%ということは市内で5人か6人しかおられない。4つの吹奏楽部の先生がやられる

なら、残り1人、2人しかおられないのになります。これが現実です。これを言うと、先生から冷たい目で見られるんですけど、その5人か6人の先生と一緒にできるような国の仕組みになっているので安心してください。それが7人、8人となっていくことを願っています。

#### ○委員

現役世代からの聞き取りをきめこまかくしていただきたいことと、いろいろな意見が分かれている部分が多いので、お互いの交流をもっといただくこと、あと中学校と小学校はそれぞれ分けて進めていく必要があるというように感じます。

#### ○委員

私も同じで、8年というのはちょっと厳しい。8年度に向けてとなると無理が出てくるかなという感じがしますので、致し方ないと感じています。あと、小学校、中学校を同じタイミングでするのかということに関しては、小学校は現行計画案でいいのかなと。中学校に関しては、やはり皆さんと同じで、丁寧な説明をしながら、保護者の方への説明を「聞いてなかったよ」ということがないような形で行い、その上で意見を吸い上げていくのがいいのかなと思います。あと、市長のおっしゃられたJRのお話もすごくいいなど。鉄道はやっぱり多可町もなくなってしまって寂しい感じで、実際にどうなるのかなというのもあって、必要なんじゃないかなと思うので、ぜひ頑張ってくださいと思っています。ただ、学校統合の説明会の中でされると、火に油を注ぐことになりかねないので注意していただきたい。ちょっと説明のタイミングの仕方をうまくしていただければ、もっと理解してもらえるのではないかと思います。今の説明を聞きながらいい案だなと思いましたし、部活動に関して地域の方がゴルフ部と玉木さんのところの文化部とかたくさんの部活動ができて、西脇市オリジナルのところもできればと思っています。

#### ◎市長

ありがとうございます。教育長、教育委員の皆さんが仰っていただいた中で、現役の皆さんが中学校を統合したらどんな教育をしてくれるということがわかるようなビジョン示さないと納得はされないというところが結論のような気がします。

#### ○教育長

今日、そういうところを具体的にお話ができれば一番いいんですが、4人の教育委員の方に学校を見ていただいて、いろんなことが変わってきていることを感じていただけたのではないかと考えます。今、DX（デジタルトランスフォーメーション）の研究も市内の学校、校区で進めて

いますので、それを市内全域の学校に伝えていこうとしていますし、いろんなことが今動いていますので、そういったものを地域の方や保護者にお伝えをして、希望や期待、安心をもっていただきたいと思います。

◎市長

この前、文部科学省の方々と話をしている、「市長、最近の教育の3Kって何か知っていますか?」「勘と経験と気合。今までは、それによかったかもしれないけれど、今からデジタル時代になってきて、働き方改革がやってきて、簡単に言うとデジタルの力で生産性を上げながらやっていかないとたないですよ。」と。3Kとうまく言ってるなと思いつつも、それは文部科学省の方の話としてお伝えしました。意見も出尽くしたと思いますので、今後の対応については教育委員会の定例会で確認をしていただくとともに、9月の議会で私の方から「一度立ち止まって考えましょう」というお話をさせていただき、その後、黒田庄地区区長会さんの方から教育委員会に要望書が出されたことも踏まえて今日この会議で話をさせていただいていると認識しています。毎月、教育委員会も開催されていると聞いていますので、今日のご意見なども参考にされて、推進計画の決定に向けてのご対応をお願いしたいと思います。それでは、西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画の現状等についてはよろしいですか。

◎市長

次にその他ということですが、何かございますか。他にないようでしたら、事務局の方から連絡事項をお願いします。

○事務局

では、次回の総合教育会議の開催時期についてですが、現時点では未定です。協議事項等をふまえて適時事務局から調整させていただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

◎

それでは、これをもちまして、令和5年度第2回総合教育会議を閉会いたします。お疲れ様でした。

————— 閉 会 —————